

2020年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

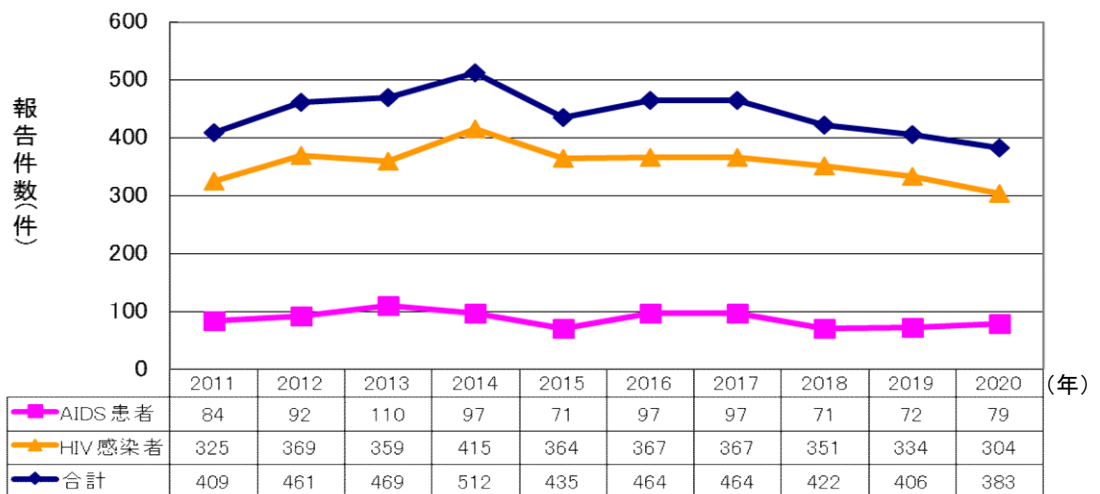
2020年のトピックス

- HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は383件で、2011年以降の10年間で最も少なかった。なお、HIV感染者は304件、AIDS患者は79件であった(図-1)。
 (1)国籍(日本・外国)、性別に見ると、日本国籍男性が319件で最も多いが、2011年以降の10年間で最も少ない報告数となった(図-2)。
 (2)推定感染経路別に見ると、性的接触によるものが332件で全体の86.7%、男性同性間性的接触によるものが302件で全体の78.9%であった(図-3)。
 (3)年代別の割合は、HIV感染者は20~30歳代が73.0%、AIDS患者は40~50歳代が63.3%であった(図-4)。
- 保健所等でのHIV/AIDSに関する電話相談件数は9,507件で、前年から11,510件減少した。HIV検査件数は17,370件で、前年から14,646件減少したが、陽性率は0.63%で前年から0.26ポイント上昇した(図-5、6)。
- HIVの感染リスクを高めると言われている性感染症の「梅毒」は、患者報告数が1,579件で、前年より162件減少したが、2016年以降高い報告数で推移している(図-9)。
 感染経路別に見ると、異性間性的接触(男性)480件、同性間性的接触(男性)456件、異性間性的接触(女性)385件の順に高く、男性の同性間性的接触は2010年以降の10年間で最も多かった(図-10)。
 男性は20~40歳代に多く、女性は20歳代に多い(図-11)。

1 HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

図-1
HIV感染者及び
AIDS患者の
報告数の推移
(過去10年)

**ひとくち
×モ**
HIV感染者：
HIV(ヒト免疫不全
ウイルス)に感染し
ているが、AIDSを
発症していない状
態。



HIV感染者は、304件で前年と比べて30件減少した。AIDS患者は、79件で前年と比べて7件増加した。HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は、383件で2010年以降の10年間で最も少なかった。

本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2020年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

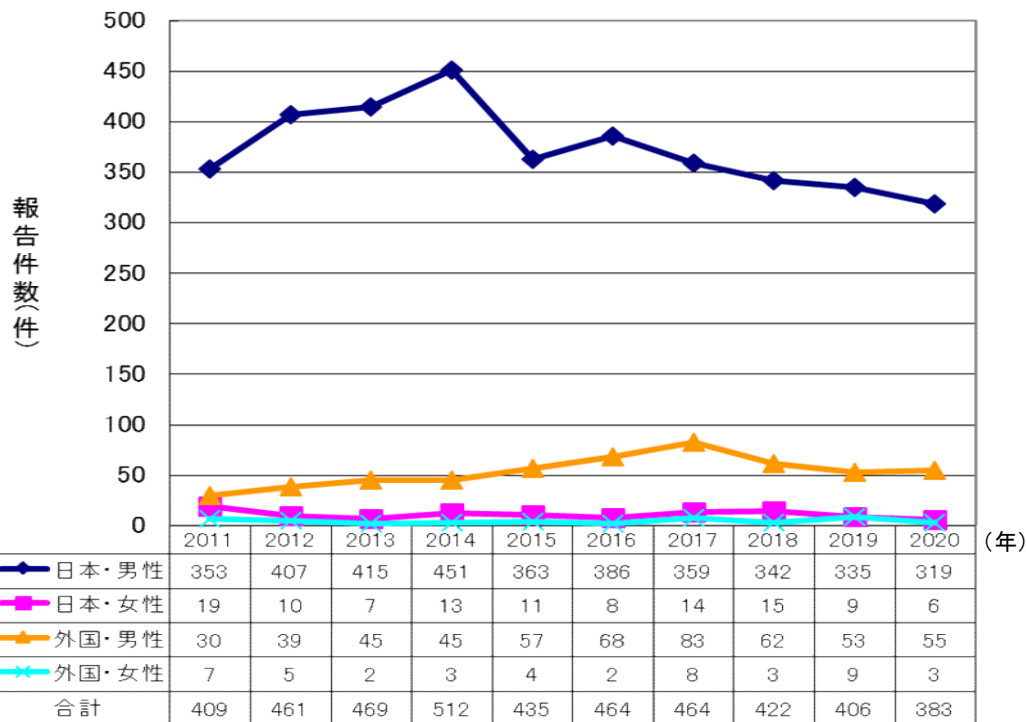
なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新している。

また、図表中では、東京都南新宿検査・相談室を南新宿、東京都多摩地域検査・相談室を多摩

図-2
HIV感染者及び
AIDS患者合計の
国籍・性別報告
数の推移
(過去10年)

ひとくち
×メモ

AIDS患者：
HIV感染により免疫
力が低下し日和見
感染症や悪性腫瘍
等(23指標疾患)
が認められた状態
です。
HIV感染後未治療
の場合、数年～10
数年でAIDSを発症
すると言われています。

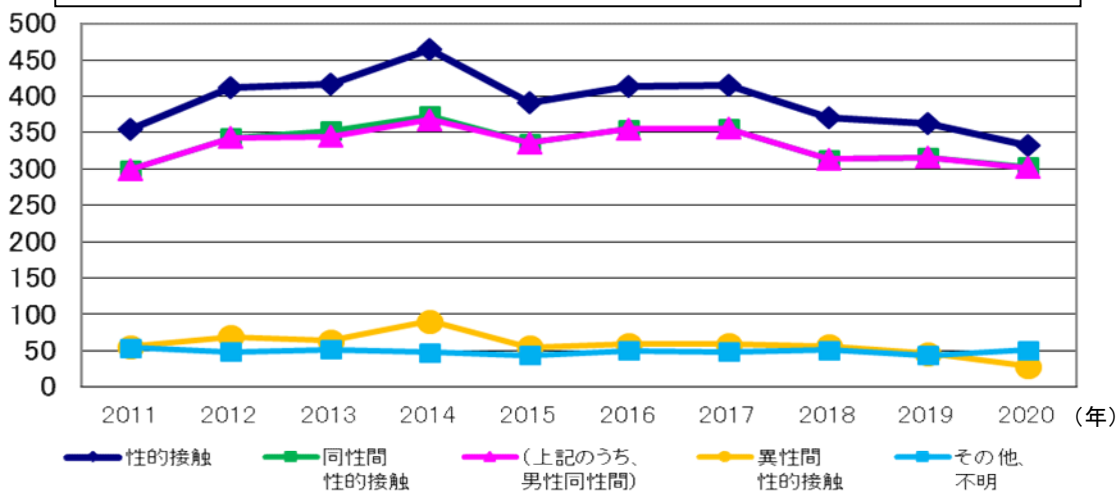


日本国籍男性の報告数は319件で、前年に比べて16件減少し、10年間で最も低い報告数となった。
日本国籍女性と外国籍女性の報告数は、近年ほぼ横ばいで推移している。

図-3
HIV感染者及び
AIDS患者合計の
推定感染経路別
報告数の推移
(過去10年)

ひとくち
×メモ

「その他、不明」には、感染経路が不明または複数あったり、母子感染や静注薬物使用の可能性のある場合などが含まれます。

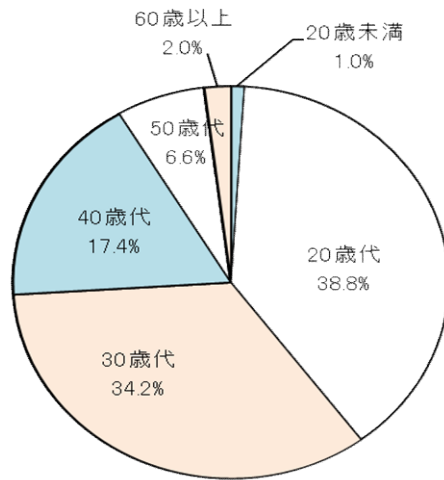


	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
性的接触	355	412	417	464	391	414	415	371	362	332
	86.8%	89.4%	88.9%	90.6%	89.9%	89.2%	89.4%	87.9%	89.2%	86.7%
同性間 性的接触	299	343	353	373	336	355	356	314	316	303
	73.1%	74.4%	75.3%	72.9%	77.2%	76.5%	76.7%	74.4%	77.8%	79.1%
(上記のうち、 男性同性間)	299	343	345	368	336	355	356	314	316	302
	73.1%	74.4%	73.6%	71.9%	77.2%	76.5%	76.7%	74.4%	77.8%	78.9%
異性間 性的接触	56	69	64	91	55	59	59	57	46	29
	13.7%	15.0%	13.6%	17.8%	12.6%	12.7%	12.7%	13.5%	11.3%	7.6%
その他、 不明	54	49	52	48	44	50	49	51	44	51
	13.2%	10.6%	11.1%	9.4%	10.1%	10.8%	10.6%	12.1%	10.8%	13.3%
合計	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383

性的接触によるものが332件で全体の86.7%を占めた。
男性同性間性的接触による報告数は前年に比べて14件減少し、302件で全体の78.9%を占めた。
異性間性的接触による報告数は前年に比べて17件減少し、29件で全体の7.6%であった。

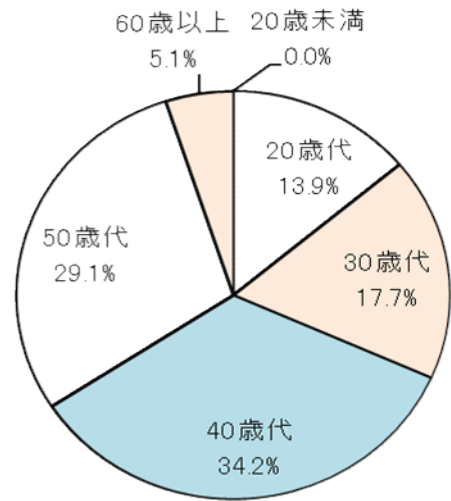
図-4
HIV感染者及び
AIDS患者の
年齢別割合
(2020年)

(1) HIV感染者



	HIV(件)
20歳未満	3
20歳代	118
30歳代	104
40歳代	53
50歳代	20
60歳以上	6
合計	304

(2) AIDS患者



	AIDS(件)
20歳未満	0
20歳代	11
30歳代	14
40歳代	27
50歳代	23
60歳以上	4
合計	79

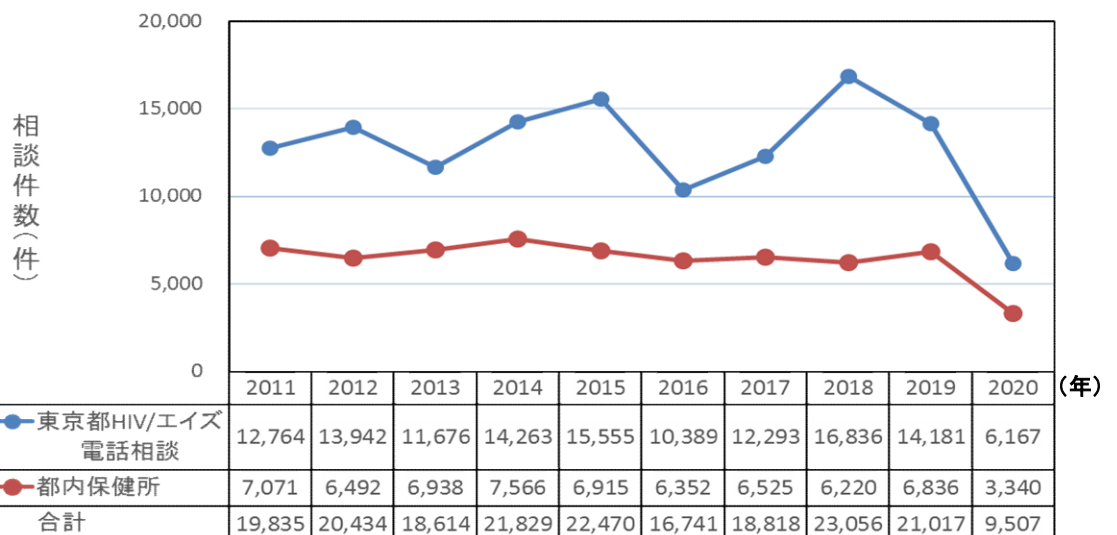
HIV感染者報告数は20～30歳代が222件で全体の73.0%、AIDS患者報告数は40～50歳代が50件で全体の63.3%であった。

2 相談・検査体制

図-5
保健所等での
電話相談件数
の推移
(過去10年)

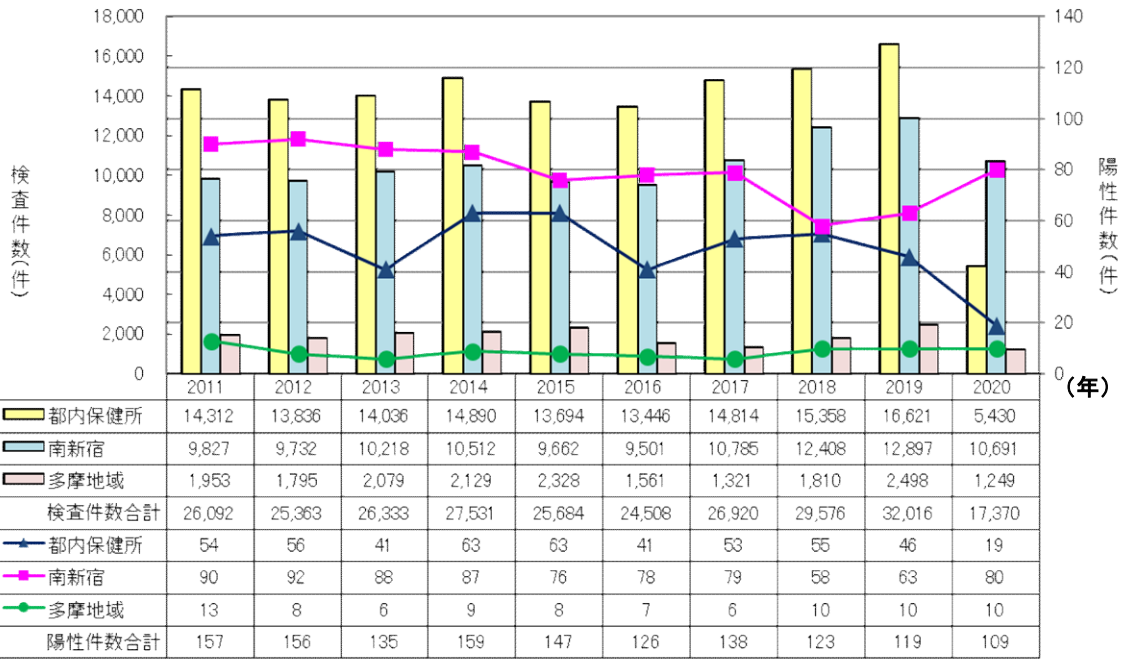
ひとくち
メモ

東京都HIV/エイズ
電話相談:
03-3227-3335
平日: 正午～21時
土日祝: 14時～17時
HIV/エイズに
関する感染不安
や予防などの相談
に応じています。



電話相談件数の合計は9,507件で、前年よりも11,510減少した。
東京都HIV/エイズ電話相談は8,014件減少し、都内保健所では3,496件減少した。
減少の理由として、新型コロナウイルス感染症による影響等が考えられる。

図-6
保健所等での
HIV検査件数
及び陽性件数の
推移
(過去10年)



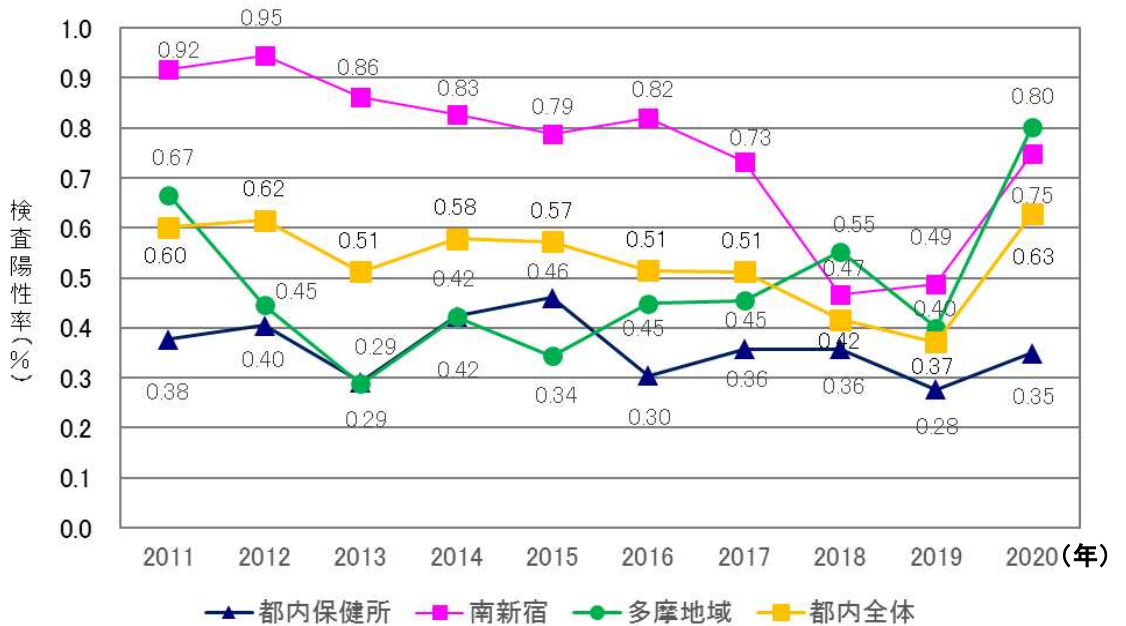
ひとくち
XME

無料・匿名でHIV検査
を行っている東京都
の検査・相談室

○東京都新宿東口
検査・相談室:
平日夜間・土日

○東京都多摩地域
検査・相談室:
土曜日

図-7
保健所等での
HIV検査陽性
率の推移
(過去10年)



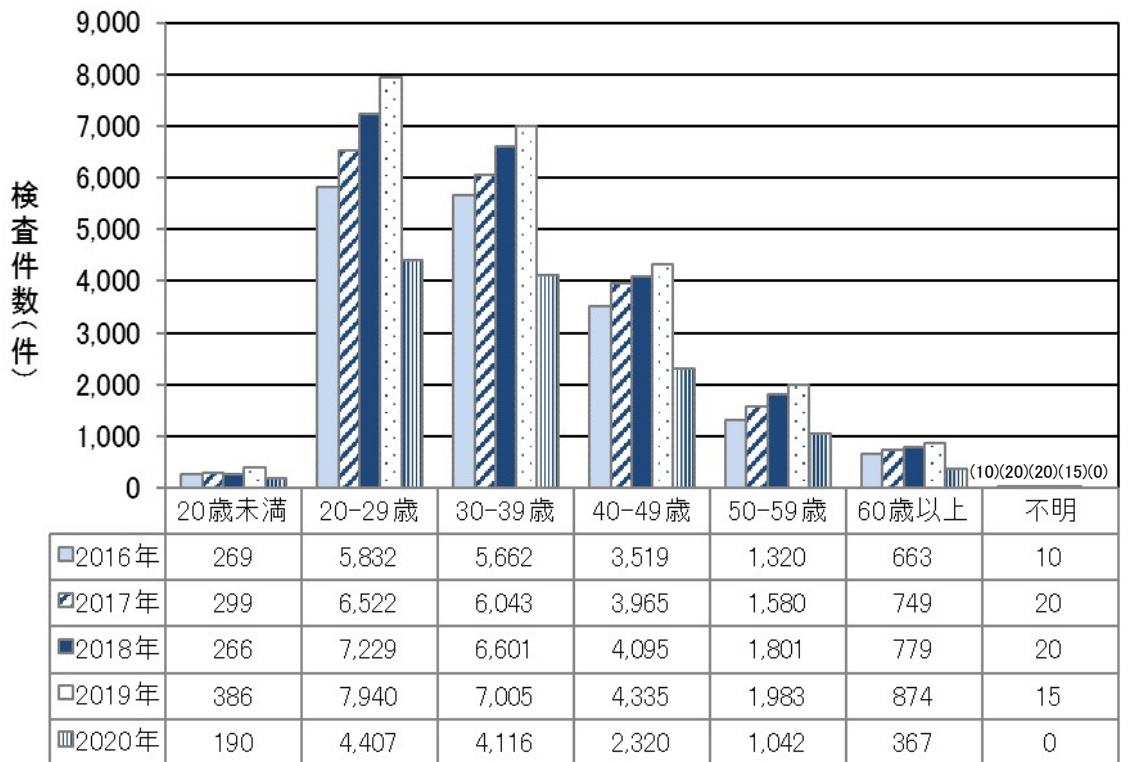
HIV検査件数の合計は17,370件で、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う保健所検査の一部中止等の影響もあり、前年と比べて14,646件と大幅に減少した。検査陽性率は0.63%で、前年と比べて0.26ポイント上昇した。

検査機関別に見ると、都内保健所は11,191件、南新宿は2,206件、多摩地域は1,249件減少した。

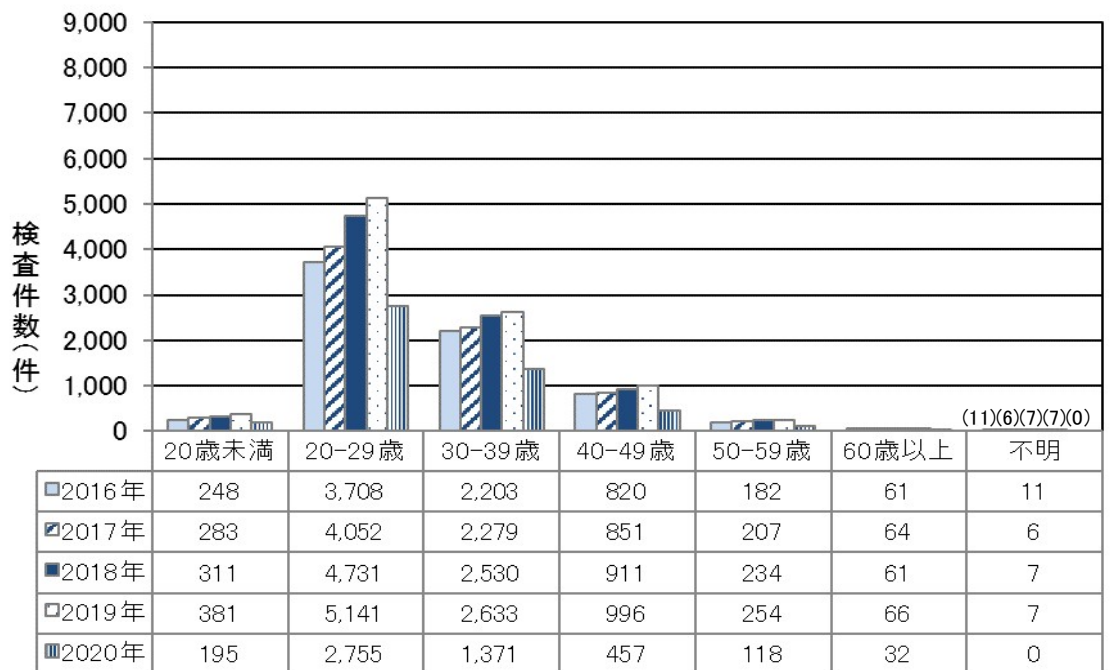
都内保健所の陽性件数は19件で昨年と比べて27件減少し、陽性率は0.35%で昨年と比べて0.07ポイント増加した。また、多摩地域の陽性件数は昨年と同じ10件で、陽性率は0.80%で昨年と比べて0.4ポイント増加した。一方、南新宿の陽性件数は80件で昨年と比べて17件増加し、陽性率は0.75%で昨年と比べて0.26ポイント増加した。

図-8
保健所等での
男女別・年齢
層別HIV検査
件数の推移
(過去5年)

(1)男性



(2)女性



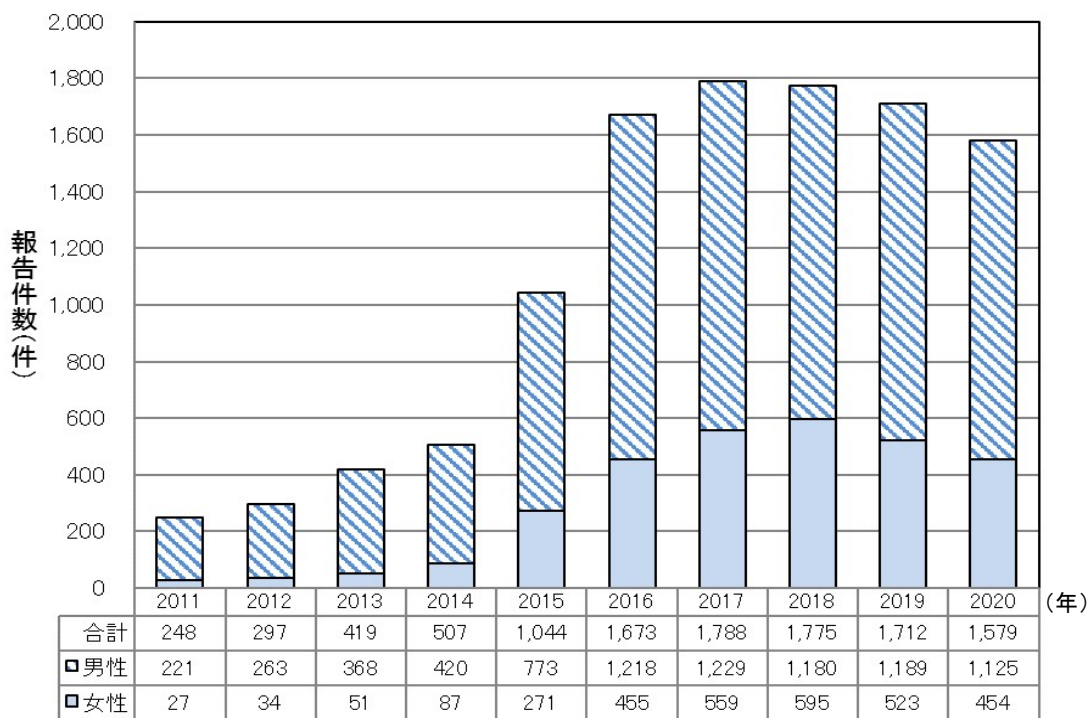
年齢層別のHIV検査件数は、男女ともにすべての年代で、前年と比べ減少した。
男女ともに20歳代が最も検査件数が多く、次いで、30歳代、40歳代の順となった。

3 他の性感染症情報「東京都の梅毒の動向」

図-9
梅毒の患者
報告数の推移
(過去10年)

梅毒とは？

梅毒トレポネーマというらせん状の細菌による感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。昔の病気と思われがちですが、近年患者数が増加しています。治療をしなければ、発疹やただれなどが出てきたり消えたりしている間に、病気が進行してしまいます。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数は1,579件で、前年と比べて162件減少したが、2016年以降高い報告数で推移している。男女別に見ると男性は64件、女性は69件減少した。

図-10
梅毒の推定感染
経路別報告数の
推移
(過去10年)

梅毒のポイント①

オーラルセックスでも感染します。

症状がなかったり、皮膚に症状がでて痛みやかゆみがないことがあります。

症状が自然と消え、治ったと思いつつも入ることもあります。

免疫ができないので、治療し、完治しても何度も感染します。

症状がなくてもパートナーを感染させることもあります。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数を見ると、男性の異性間性的接触が480件で、女性の異性間性的接触は385件でもともに前年と比べて減少した。一方で男性の同性間性的接触は456件で、2010年以降の10年間で最も多かった。

図-11
梅毒の男女別・
年齢別患者
報告数の推移
(過去5年)

梅毒の
ポイント②

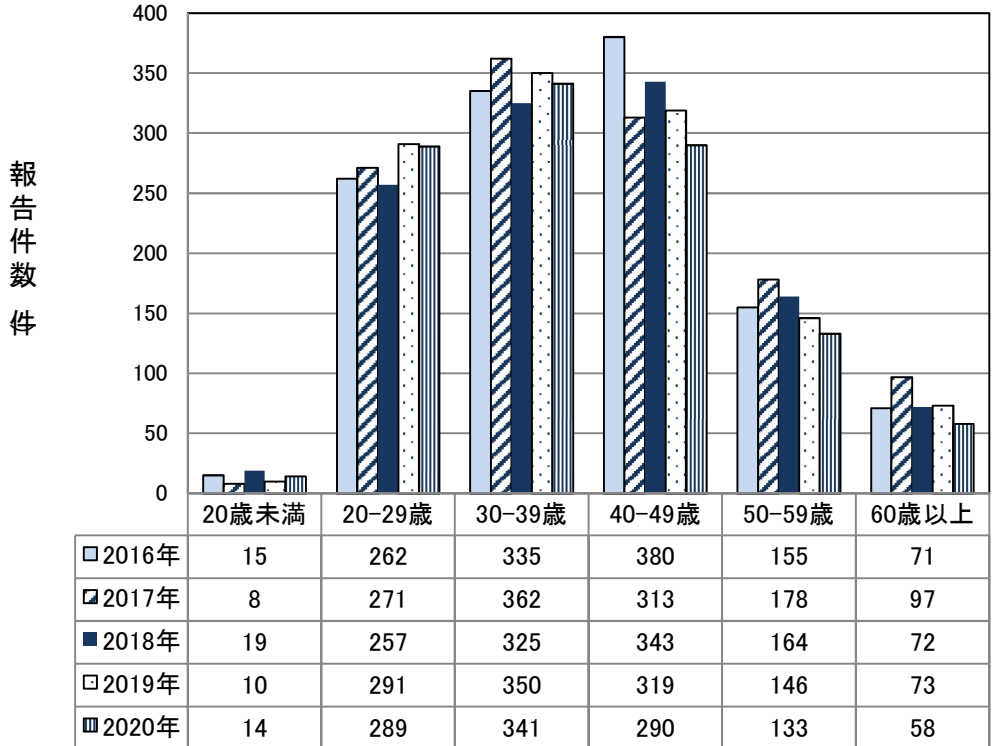
感染しているかどうかは検査でわかります。

パートナーも梅毒検査を受けましょう。

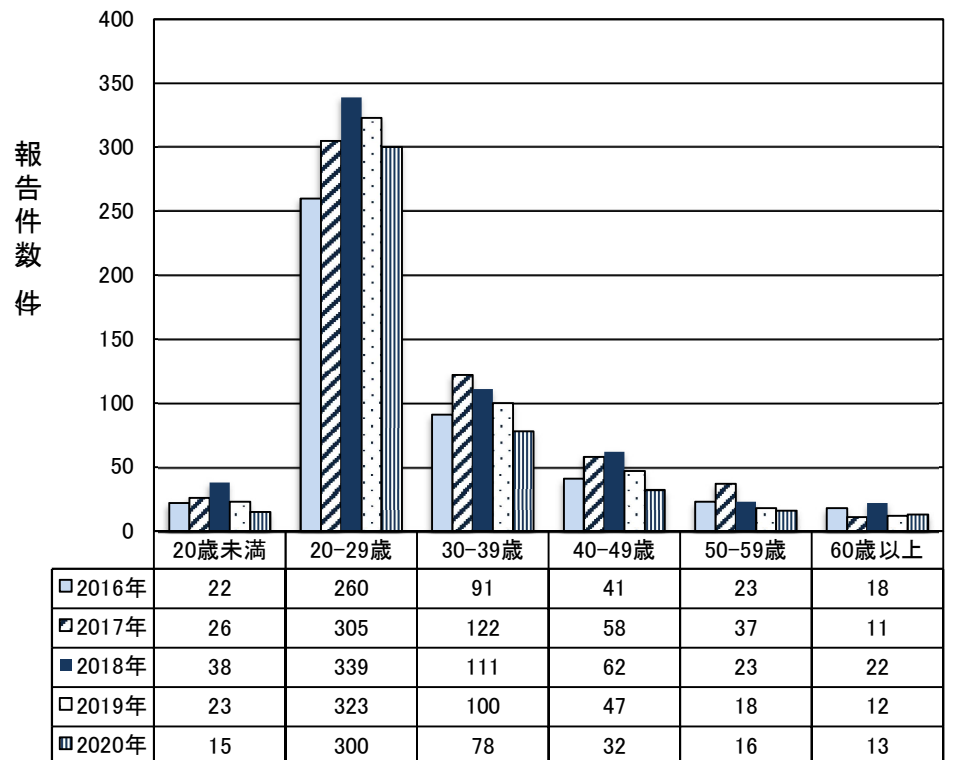
症状があるときはすぐに医療機関を受診しましょう。

予防には、コンドームの適切な使用が有効です。

(1) 男性



(2) 女性

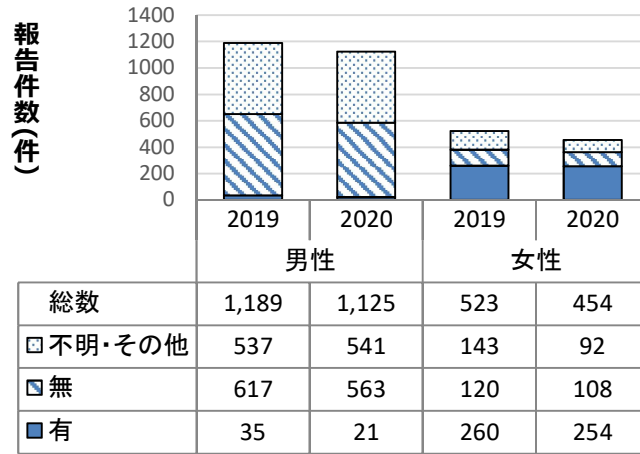


—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

男女別に報告件数を見ると、男性は20～40歳代に多く、女性は20歳代に多い。2020年は、男性の10歳代および女性の60歳以上を除く全年代で2019年に比べて報告件数が減少した。

図-12
梅毒患者の男女
別性風俗産業(直
近6か月)従事歴
(過去2年)

(報告件数)



(割合)

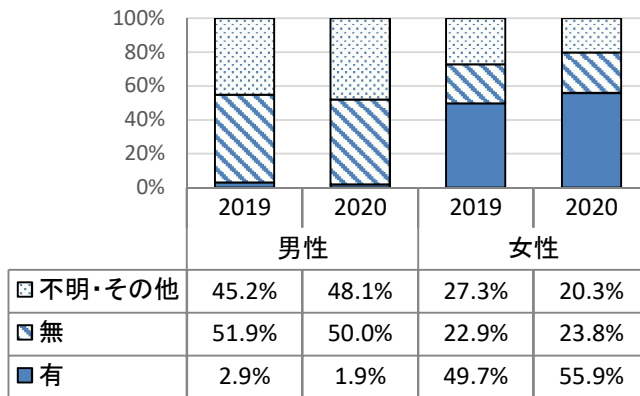
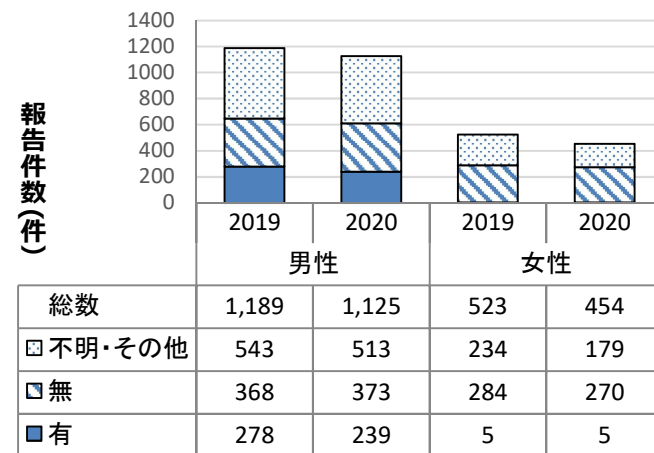
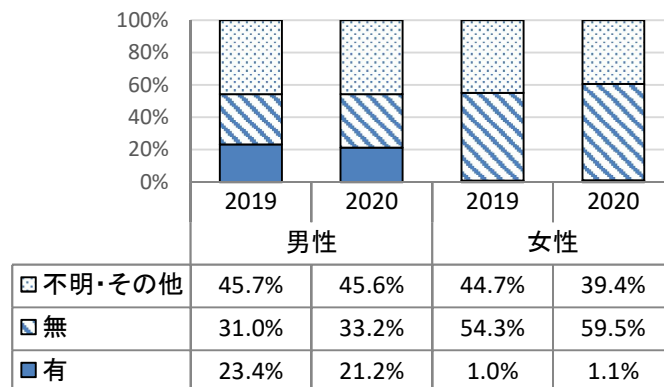


図-13
梅毒患者の男女
別性風俗産業(直
近6か月)利用歴
(過去2年)

(報告件数)



(割合)



女性梅毒患者の約半数に性風俗産業従事歴があった。
男性梅毒患者の約20%に性風俗産業の利用歴があった。

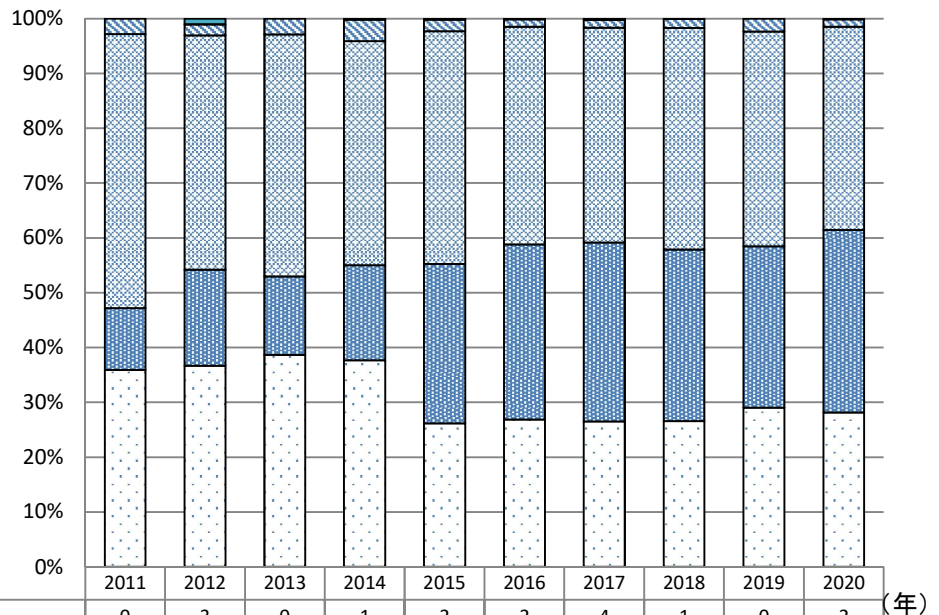
図-14
梅毒の病型別患者報告数の推移
(過去10年)

**梅毒の
症状**

無症候:
症状は現れていないが、梅毒血清反応が陽性。

早期顕症梅毒
(I期):
感染した場所に、しこり・ただれ等の症状が現れている状態。

早期顕症梅毒
(II期):
I期の症状が消えた後、手足・全身などに発疹の症状が現れている状態。



■先天梅毒	0	3	0	1	2	2	4	1	0	2
□晩期顕症梅毒	7	6	12	20	22	23	26	30	40	22
□早期顕症梅毒(II期)	124	127	185	207	443	664	700	717	671	585
■早期顕症梅毒(I期)	28	52	60	88	304	535	584	555	504	525
□無症候(無症候病原体保有者)	89	109	162	191	273	449	474	472	497	445

—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

2015年以降、早期顕症梅毒(I期、II期)の報告数及び割合が増加している。

《梅毒情報》

東京都性感染症ナビ

梅毒についてのeラーニングや、国や自治体などの動向、性感染症に関連するイベントや研修などの最新の情報を掲載しています。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikansensho/>



東京都 性感染症 検索

東京都福祉保健局HP「梅毒について」

東京都福祉保健局「性感染症ってどんな病気？」

《検査は匿名・無料》

※検査実施状況については、事前にHPを御確認ください。

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査(予約制)

平日夜間・土日検査

HIV検査と同時に梅毒検査も毎日実施しています。

※インターネット予約(24時間)

住所:新宿区歌舞伎町2-46-3 SIL新宿ビル2階

予約電話番号:03-6273-8512

電話予約・検査受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:30
土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30



※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施

(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要)

土曜・即日検査

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV検査(予約制及び先着順)

HIV検査と同時に梅毒即日検査も実施しています。

住所:立川市柴崎町二丁目21番19号 東京都立川福祉保健庁舎内2階

予約電話番号:080-2022-3667

電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 10:00

先着順検査 ※実施しない場合があります。事前にHPを御確認ください。

検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 13:00～15:00

問い合わせ先 090-2537-2906(9:30～17:00:日・祝日を除く)



【発行】東京都福祉保健局感染症対策部
防疫・情報管理課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487